

# 令和8年度予算見積調書

課室名: 道路環境課

担当名: 補修担当

内線: 875105

(単位: 千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
P113	インフラ日常管理DX推進費（道路）	一般会計	土木費	道路橋りょう	道路維持費	道路管理費
事業期間	令和7年度～ 根拠法 令 道路法	針路 分野施策	09 0903	未来を見据えた社会基盤の創造 埼玉の活力を高める道路ネットワークの構築	SDGsゴール SDGsターゲット	9, 11, 13 9-1, 11-5, 11-7, 13

## 1 事業概要

道路・河川については、道路法、河川法に基づき適切に管理しなければならないため、地域機関における道路・河川のパトロール実施、地域住民からの苦情や要望受付等、現地での対応が不可欠である。

パトロール日誌や苦情報告書の作成では、位置情報と連携させる必要があるため、現場の写真や位置図の添付、記録データの管理等を手作業で行っていたが、令和7年6月に道路・河川維持管理支援システムを導入し、運用を開始した。

インフラ日常管理業務の更なるDXを推進するため、本システムの活用により情報の一元化を図り、業務の効率化と、県民サービスの向上を目指す。

## 2 事業主体及び負担区分

(県10/10)

## 3 地方財政措置の状況

なし

## 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員

9,500千円×0.29人=2,755千円

## 5 事業説明

### (1) 事業内容

インフラ日常管理DX推進費（道路） 12,525千円（事業全体額 21,650千円）

インフラ日常管理（道路・河川）の「情報の一元化」「迅速な情報連携」「情報の見える化」を図るため、道路・河川管理を支援するシステムの運用保守を行う。

### (2) 事業計画

ア 事業実施時期 令和7年度～

イ 道路・河川維持管理支援システムの機能

(ア)道路・河川パトロールの巡回ルートや損傷箇所、不法投棄箇所等の記録をスマートフォンアプリで行う。

(イ)現場で記録した情報に加えて、職員が事務所で受けた情報をクラウド上で記録することで、リアルタイムで県庁、各県土整備事務所、現地パトロールとの情報共有を可能にする。

(ウ)パトロールや県民からの苦情記録で蓄積されたデータをヒートマップ等で可視化する。

ウ 事業実施箇所 12県土整備事務所、総合治水事務所、道路環境課、河川環境課

### (3) 事業効果

インフラ日常管理システムの導入により、職員の業務時間の削減、パトロール業務の効率化など、業務の改善が図られる。

#### 【活動指標（アウトプット）】

書類作成時間の削減、データ集計事務の効率化（1人あたり月7時間）

パトロール日誌作成時間の削減（年間3,660時間）

#### 【成果指標（アウトカム）】

インフラ日常管理業務のDX化が進み、計画的なパトロールが実現することで異常箇所の早期発見、早期対応など道路・河川管理利用者の安心・安全が確保されている。また、データの蓄積によるインフラ管理の高度化により、県民サービスが向上する。

予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	12,525						12,525	△2,115
前年額	14,640						14,640	

## 事業内訳書

事業名	インフラ日常管理DX推進費（道路）		
単位事業名	インフラ日常管理DX推進費	予算額	12,525千円

### ○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	12,525	△2,115	
合計	12,525	△2,115	

### ○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	12,525	△2,115	システム運用補修等業務委託
合計	12,525	△2,115	